



★県立大学 × 江津工業



★進路ガイダンス



★3年生ライフプラン支援事業

島 根県立大学の学生5名をお招きし、地域の課題について考えるワークショップを開催しました。大学生との交流から自身の生き方について視野の拡大や、本校生徒が大学や地域をより身近に感じること等を目的としています。ゼミ活動や研究、日々の生活等の話を聞き、その後、地域の課題について協議を行いました。大学生の支援を受けながら、各々が探してきた「地域の不便や危険」について改善方法等を議論しました。これまで何気なく見ていた街の景色を見つめ直すことで、様々な気づきがありました。

本 校体育館において1・2年生進路ガイダンスを行いました。地元産業を支える各企業と高校生がつながることによって、働き方や地域の中での役割を考えるとともに、地元企業について理解することを目的としています。地元島根の企業・事業所から24事業所の皆様に来校して頂き、各説明ブースに本校1・2年生がそれぞれ回って直接語り合うという形式で実施しました。これだけの企業が本校生徒のために関わりをもっていただけることはとても有り難いことです。生徒に加え教員も多くのことが学べる大変貴重な機会となりました。

3 年生を対象に、加納美代子江津子育て支援サポートセンター相談員に講演をしていただきました。江津市では「自分自身を見つめ、自分の選択した将来に責任を持ち、心身ともに幸せで豊かな人生を実現するための支援事業」に取り組んでいます。体と心の仕組みは両輪であり、うまく噛み合うことで自己肯定感の向上に繋がること、困ったときには一人で悩まないこと、自分の行動に責任を持つことなどについて、お話しいただきました。生徒の感想から自己の生き方についてしっかり考えたいという意識の変容が多く見られました。



★生徒会役員選挙立会演説会



★校内球技大会開催！



★インターンシップ実施

生 徒会長3名、生徒副会長2名の立候補者が、どのように生徒会を運営していきたいかなどの思いを言葉にして全校生徒に訴えました。演説会終了後、江津市選挙管理委員会からお借りした投票箱・記載台を使用して投票しました。少子高齢化社会を迎えた日本での若者の政治離れという社会問題に対し、本校では、主権者教育の一環として、「社会に興味・関心を持ち将来に渡って自発的に政治に参加する生徒の育成」を目指し、よりリアルな投票の場を提供しています。

11 月16日に校内球技大会を開催しました。今年度2回目の球技大会はバスケットボールとサッカーの2種目で実施しました。バスケットボールでは、予選から男子・女子ともにハイレベルな試合ばかりで、一進一退の攻防が繰り広げられていました。サッカーでも各チームの実力が均衡しており、ロースコアの好ゲームが続き、決勝進出に得失点が絡んでくるなどの大混戦となりました。見ている側の教員・生徒も熱くなれる試合ばかりで、大いに盛り上がった球技大会となりました。

11 月9日(火)から11日(木)の3日間、2年生が大田市、江津市、浜田市の企業や官公庁でインターンシップに参加しました。作業の大変さを理解するとともに実際の技術に触れることで、社会人としての心構えやマナー、働くことの大切さや大変さなどを学ぶことができました。生徒の様子を見ていると、日々の学習や働くことへのイメージが少しずつ輪郭を帯びてきたようにも感じます。例年、インターンシップは進路を考える貴重な機会となっています。ありがとうございました。